

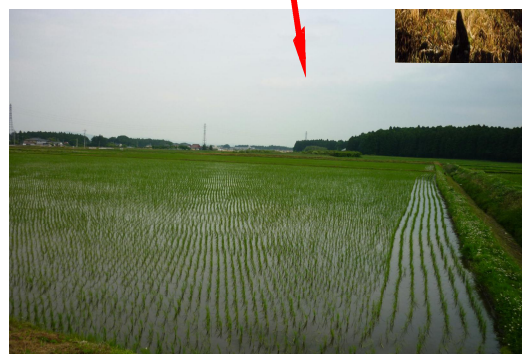
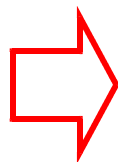
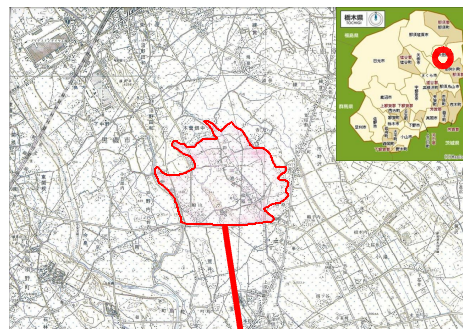
か ね だ ほ く け い
県営圃場整備事業
金田北部2期地区（平成19年3月完成）

1. 事業概要

本地区は、大田原市の北西部に位置し、一級河川巻川の両岸の扇状地に広がる水田地帯であって、古くから水稻を中心とした農業が営まれている。

本事業は、金田北部2期地区の農地131haについて、圃場整備を行うものである。

事業名	県営圃場整備事業
事業主体	栃木県
事業箇所	大田原市富池
受益面積	131ha
受益者数	106人
整備内容	整地工 131ha 用水路工20.2km 排水路工 16.3km 道路工 20.1km 暗渠排水 13.5ha
総事業費	14.7億円
事業期間	平成11年度～平成18年度



2. 事業の目的・必要性

本地区の農地は区画が狭く不整形であるとともに、道路は狭小で屈曲しており用排水路が土水路であったため、効率的な営農が困難な状況にあり、基盤整備は重要な課題となっていた。

このため、栃木県では圃場整備事業により、農地の大区画化を行い大型機械の導入を図るとともに、排水条件の改善による「農地の高度利用」や「営農の効率化」、「農地利用集積の推進」を図ることを目的に、平成11年度から圃場整備工事に着手し、平成18年度に事業完了した。

3. 事業の整備効果等

(1) 事業費等の変化

項目	事業採択時	事業完成時	増減
受益面積	151ha	131ha	△20ha
総事業費	22.8億円	14.7億円	△8.1億円
工期	H11～H16	H11～H18	

受益面積については、本事業以前に既に個人で整備しており、新たな整備に対する意欲が低いこと等により、20haの減となった。事業費については、受益面積の減により8.1億円の減となった。

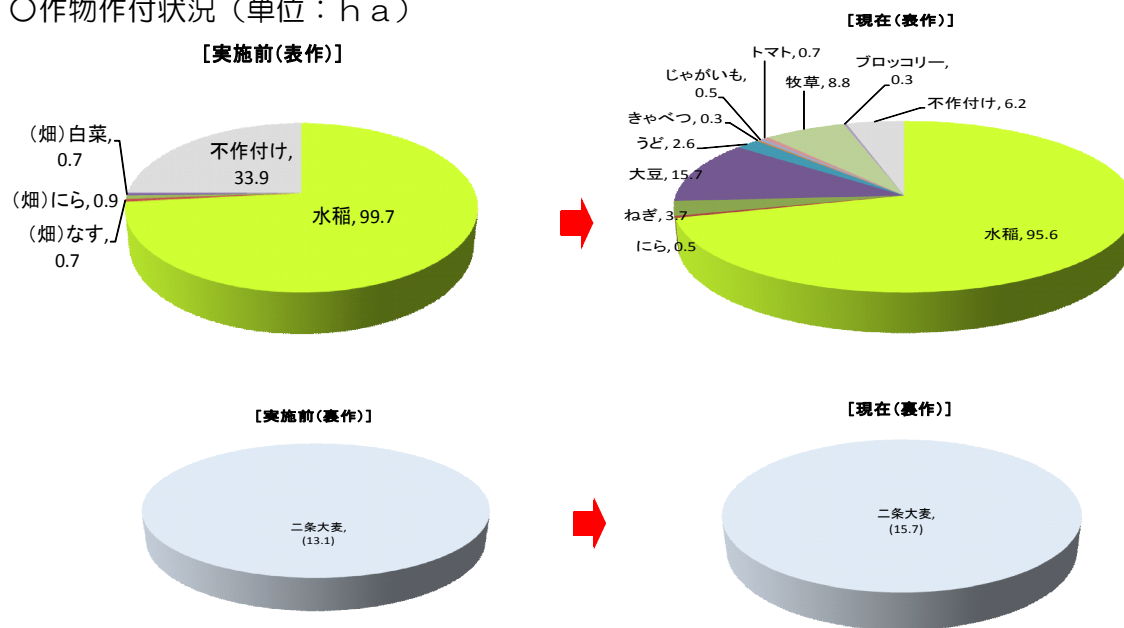
(2) 農地の高度利用

◆農作物の作付け状況

用水の安定供給やほ場の排水改良等、作物の栽培条件が改善されたことにより、麦やネギ、ウドなど約33haが栽培されている。特にネギは白美人、ウドは那須の春香ウドのブランド名で大田原市の特産品として、首都圏を中心に出荷されている。

○耕地利用率 [実施前] 77% ⇨ [現在] 110%

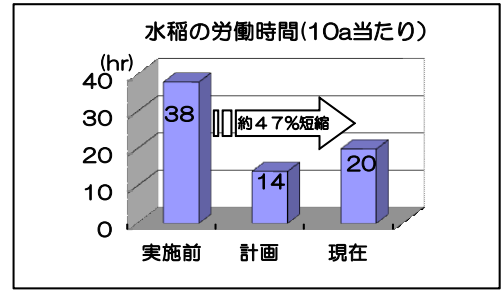
○作物作付状況（単位：ha）



(3) 営農の効率化

① 農作業に係る労働時間の短縮

農地の大区画化等により、大型機械の導入が可能となり、労働時間が水稲で約47%短縮されている。

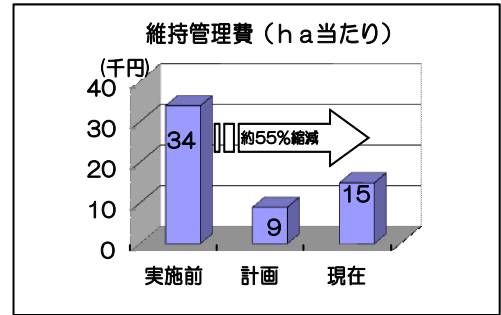


(担い手農家からの聴き取り)

② 維持管理の軽減

水路装工、農道整備により水路の掘ざらい、草刈り、道路の草刈り等の維持管理費が年間約55%軽減されている。

維持管理費：34千円/ha/年間（実施前）
↓
15千円/ha/年間（現況）



(金田北部土地改良区聴き取り)

(4) 農地利用集積の推進

区画形状や用排水、農道が整備され営農条件が改善されたことにより、担い手への農地集積が着実に増加しており、担い手の確保育成に寄与している。

	[整備前]		[現在]
地区内経営面積 (ha)	32 ha	約2倍	62 ha
地区内農地集積率 (%)	22 %		47 %

4. 事業により整備された施設の管理状況

整備された農業施設は、金田北部土地改良区により適正に管理されている。

農道は大田原市が管理するとともに、水路は年1回程度定期的に土地改良区および地先耕作者が土砂清掃及び草刈り等を行っている。

5. 事業実施による環境の変化

地域において、農業生産の拠点となる農産物の集出荷施設用地として、非農用地を1.3ha創設し、地域農業生産環境の発展に寄与している。

また、景観保全等にも農地・水・環境保全向上対策を利用して地域住民が一体となって取り組んでいる。



6. 社会経済情勢の変化

特になし

7. 今後の課題等

- ①事業実施により担い手への農地利用の集積や特産農作物の導入が図られていることから、
 今後は一層の農地の高度利用が図られるよう支援をする必要がある。

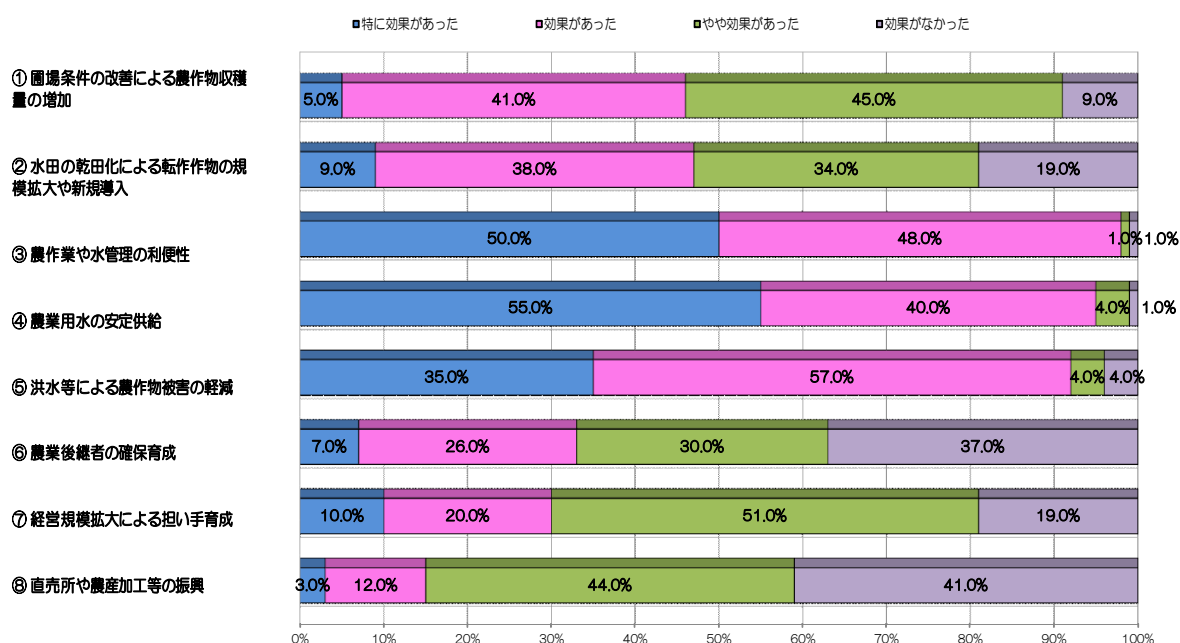
◆ [参考：アンケート調査結果について]

本地区内の農家、非農家を対象に事業実施に対する効果の発現状況について調査を行った。
 (配布戸数 100戸 回答 81戸 回答率 81% H24.6.1実施)

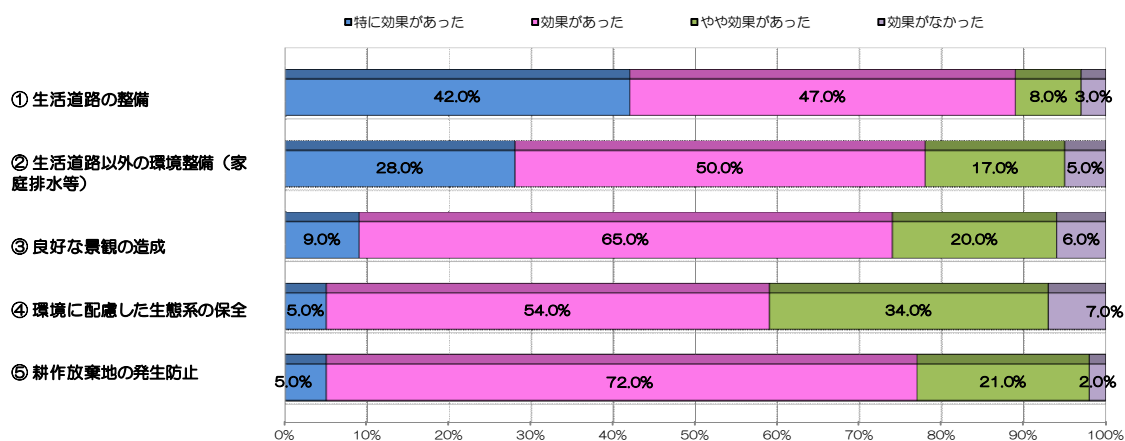
[アンケート結果での地域住民の事業に対する評価]

農家からは特に農作業や水管理の利便性、農業用水の安定確保、洪水防止に対して高評価を得ている。また、生活環境全般について高評価を得ている。

①農家を対象としたアンケート結果



②農家・非農家を対象としたアンケート結果



③主な意見

【農家】

- ・労力が軽減されたため、新規作物の導入が出来た。
- ・排水路は全面コンクリート化が良いと思う。地下浸透型は雑草が生えて流れが悪くなり、掃除も大変。
- ・土砂道の舗装をしてもらいたい。

【非農家】

特になし

栃木県 農政部 農地整備課

TEL : 028-623-2364 FAX : 028-623-2378

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/system/honchou/honchou/1182500312842.html>

E-mail : noch-seibi@pref.tochigi.lg.jp

